

日本顕微鏡学会 超高分解能顕微鏡法分科会

第9回研究会「先端顕微鏡を用いた応用研究」

日時 2014年2月24日(月) 13:00-17:30

場所 東京駅 東京八重洲ホール 201会議室(定員60名)

会費 1,000円

趣旨

「超分解能」とは、たんに空間分解能が高いだけでなく、電場や磁場といった見えないものをイメージングすることも指している。本研究会は、後者にあたる話題を取り上げ、大いに議論することを目的とする。会の前半では、電場や磁場のイメージングに関する新しい試みを講演して頂く。特に、東京大学 柴田先生には、微分位相コントラスト法など進展が目覚ましいSTEMの可能性を講演して頂く。後半では、従来から難しいと言われている有機薄膜の観察に関する研究成果、そして、まだまだ未解明な問題が多いものの産業的には重要な格子欠陥に関する研究成果を講演して頂く。

なお、本研究会は、若手研究者をエンカレッジするため、博士後期課程の院生を主な対象とした3名の講演を企画する。自らの研究内容をアピールできるとともに、より深い議論ができる場を提供する。

13:05-13:10 「趣旨説明」

大島 義文 (大阪大学)

13:10-14:10 (特別講演)

「原子分解能STEMの新展開 -微分位相コントラスト法を中心として」

柴田 直哉 (東京大学)

14:10-14:50 「分離照射電子線ホログラフィー」

谷垣 俊明 (理化学研究所)

14:50-15:10 休憩

15:10-15:50 「有機薄膜の高分解能STEM」

治田 充貴 (京都大学)

15:50-16:30 「格子欠陥のその場TEM」

荒河 一渡 (島根大学)

16:30-16:50 若手研究者の講演1 (20分)

16:50-17:10 若手研究者の講演2 (20分)

17:10-17:30 若手研究者の講演3 (20分)

(「若手研究者の講演」について)

- ・発表12分+質疑8分とする。
- ・希望者は下記の問い合わせまで申し込んで下さい。
- ・希望者が多い場合、選考させていただきます。
- ・締切1月10日(金)

参加申し込み・問い合わせ:

大島義文(阪大電顕センター)(世話人)

TEL: 06-6879-7941、

E-mail: oshima@uhvem.osaka-u.ac.jp

